

運営計画書

加茂交流センター

令和3年12月

(施設の概要)

施設の名称	加茂交流センター
施設の場所	島根県雲南市加茂町加茂中 972-5
管理主体	加茂まちづくり協議会（指定管理（予定））
整備年度	令和4年3月（予定）
構造	鉄骨造（耐火建築物）
延べ面積	810 m ² （建築基準法上 855 m ² ※外部軒下加算）

(目標)

本施設は、地域住民（特に若者、子育て世代）がこれまで以上に訪れやすく、交流し、具体的かつ実効性のある取り組みを進めるため連携し、取り組みを行うことができる拠点として整備されたものである。また、これまで地域内で分散して行われてきた取り組みを、地域課題の解決に向けた共通のビジョン（地区計画：加茂まちづくり計画「かもライフ」）のもとで再構築し、地域ぐるみで子どもや若者世代が暮らしやすい環境づくりに取り組むものである。

本施設は地域自主組織の加茂まちづくり協議会が指定管理者として運営し、子育てサロン、放課後子ども教室、チャレンジスクール、高齢者サロンなどの取組を中心に多様な事業を展開する。

「関わる住民が限定されている」「様々な活動がされる拠点という認識が持ちにくく、外部も含めた新たな関わりを生む窓口になりにくい」という課題を解決し、自然な形で住民が訪れ、かつその場所でこれまで接点を持てなかった住民どうしや地区内外の人材や企業等との繋がりが生まれる場を実現するため、それに必要な「多様な取組を高い頻度で行うことができ、それが誰でも出入り自由なフリースペースを提供し、かつ過去から未来に亘る取組の人材、情報等が一元的に集まる」地域活動の拠点として機能することを目指す。

本施設を拠点とした事業で、地域活動の次世代の担い手である「若者」が交流センターを訪れる仕掛けをつくり、また、現在地域の各所で行われる「子育て」のための活動や人材を集約し、地域の課題解決をさらに進めるため企業や団体による「産業」の取り組みを実施し、これらの取り組みによる地域活動に必要な「情報」が集まる環境を実現し、地区内住民はもとより地区外から見ても、幅広い年代にとって訪れることで得られるメリットが多いと感じられ、それが高頻度で更新されることで拠点としての高い魅力を備えることの実現を目指す。

「若者」支援では、20～30代の就労世代だけでなく、小中高校生までを見据え、若者が集える場所を提供する。小中学生については、放課後の居場所の確保はもちろん、居場所での過ごし方について、交流、学習、遊び、研究といった多様な活動が同時に実施可能な場所としての環境整備を行う。就労世代の若者

については、それぞれの得意分野や関心のある分野での活動や収益事業を展開するための受け皿にもなり得る場として提供する。

「子育て」支援では、学校やまちづくりグループ（ラブブッククラブ）等各種団体と連携を図り、地域の拠点において、地域住民、子どもや親、学校が一緒に活動し学ぶことにより、住みたいまちとしての魅力を高め、子育て環境の充実と教育移住の推進を図り、「真の意味での地域全体で行う子育て」＝「理想的なコミュニティ・スクールのあり方」の実現につなげる。また、子育てをしながら働きやすい環境があることも重要であり、前述の若者支援とも関連しながら、自主組織の専門部による放課後児童を対象とした事業も実施し、居場所での過ごし方の選択肢を広げるなどして、放課後や長期休業中に子どもが過ごせる環境を確保することで、安心して両親が仕事をできるための支援を行う。

「産業」支援では、ワーキングスペースとしても利用できる空間として場を提供することにより、子ども、若者、子育て世代が交流活動を行う企画や実施を目的として集まり、その中で交流や連携が図られることで、各人のやりたいことや得意な事が課題解決やコミュニティビジネスにつながることを目指す。また、地域内の農産物、工芸品等を商品化したりPRするための場としても提供する。

「情報」支援では、上記の3つの支援で交流センターに集う住民に対し、自主組織の事業スケジュールや、地区内における行政や各種団体（体育協会、文化施

設等)の事業の予定や内容まで網羅して確認、共有が可能な機能を整備する。同時に、交流センターで活動する各世代、団体等の情報についても自主組織において吸い上げ、整理し、確認可能な状態にして提供することで、新たな情報のインプットや、そこから新たなものが生み出される環境を提供する。地区内での就労や起業にも繋げ、それらを展開する場になることも視野に入れた支援を行う。

(具体的な取り組み)

交流センターにおいて実施する具体的な事業計画、取り組み状況、実績は、別に作成する地区計画(添付資料参照、計画期間:2017年度~2021年度、2021年度改訂予定)に基づき実施し、毎年、評議員会(総会)により具体的な事業計画を示す。

(施設の KPI)

重要業績評価指標 (KPI) は下表のとおりとする。

なお、別紙 1 (KPI 実績集計表) により実績値の集計を行う。

事業名	KPI	KPI名称	当初値	単位	目標値					累計	
					2020年度 (1年)	2021年度 (2年)	2022年度 (3年)	2023年度 (4年)	2024年度 (5年)		
小さな拠点 (加茂交流センター) 整備による次世代が集い、つながり、育ちあうコミュニティ創出事業	①	交流センターを会場に、団体、企業または個人が、自主組織や他の団体、企業、個人と連携して行った取組の数	10	回	増加分	2	2	4	4	3	15
	②	交流センターを会場とした取組における、物品またはサービスの売上額 (地域自主組織・自主組織支部・イベント出店者等、全て含む)	100,000	円	増加分	24,000	12,000	64,000	64,000	40,000	204,000
	③	加茂まちづくり協議会の役員・部員における30歳代以下及び女性の占める割合	30	%	増加分	0	2	0	3	0	5
	④	オープンスペース (ワーキングスペース) のべ利用者数	0	人	増加分	120	120	1,120	500	500	2,360

(運営の見直し策)

施設の運営状況及び KPI の評価・検証・見直しは、毎年度、評議員会 (総会) 時に実施することとする。加えて、施設の運営状況については、指定管理者制度導入施設の管理運営状況シート (添付資料参照) により毎年評価し、雲南市ホームページにおいて公表する。

(各諸室の運営方針)

① ふれあいホール（多目的作業室）・中央ホール等

- ・ 交流センターを訪れる地区住民や企業等が自由度高く使用できるスペースとする
- ・ 異なる目的で交流センターを訪れた者同士が交わり、話をする事が可能な談話スペースとする
- ・ 中高生や大人が勉強や事務作業ができるスペースを確保し、PC やプリンタの設置によりフリースペースとして様々な用途で使用を可能とする
- ・ 各種イベントや教室の開催ができるスペースにもなり、調理室や会議室（託児スペース）、授乳室、土間テラス、バルコニーとも接続され幅広い取り組みに対応する

② 交流センター事務室

- ・ 地域自主組織の職員が常駐する
- ・ 地域活動の様々な情報が集まり、人が訪れることで必要な事業の企画・運営
- ・ 相談室など小規模の打合せスペースとしての利用

③ 調理室・多目的和室

- ・ 災害時には、避難所機能の一部として利用する
- ・ 料理、離乳食教室や飲食を伴う活動・イベントを実施する
- ・ 和室は高齢者利用や託児の場として利用する

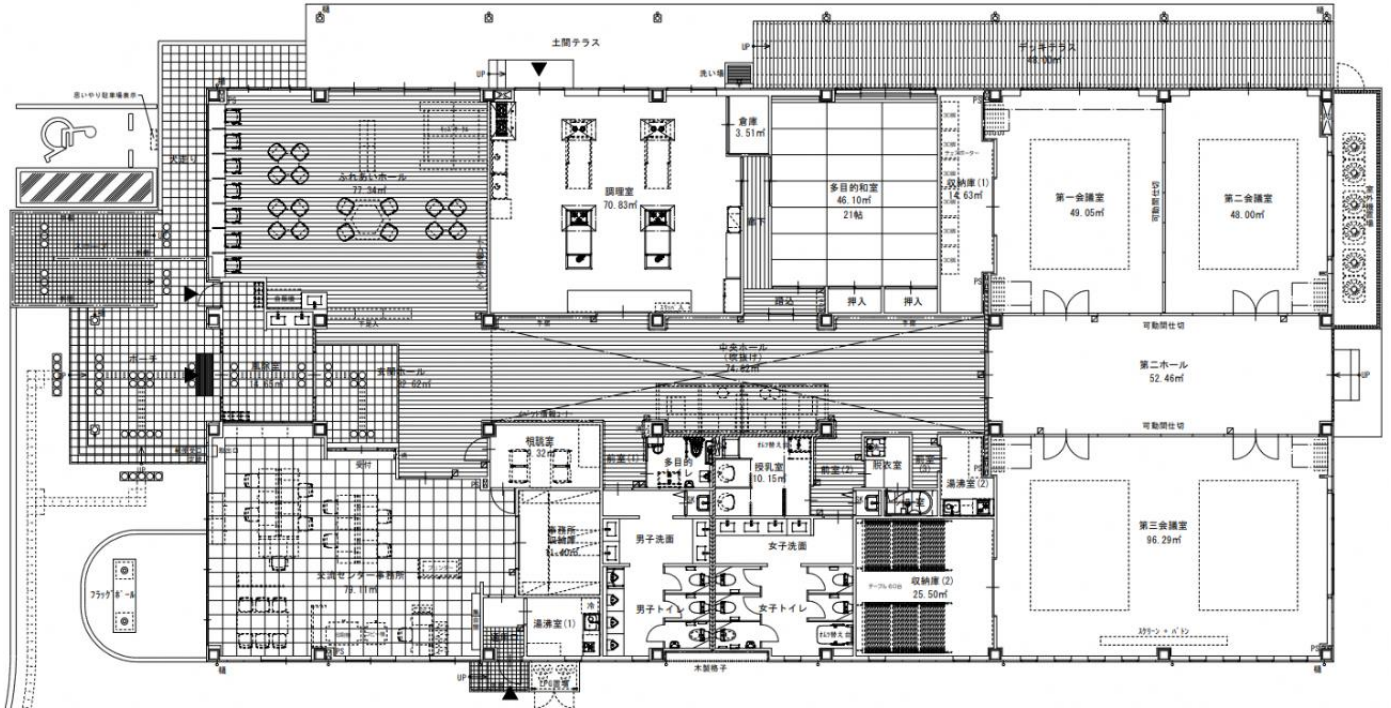
④ 大小会議室・ホール

- ・ 地区住民の各種会合や講演会、ワークショップ、発表会、企業等との協議・
打合せ
- ・ ワンフロア利用による大人数の収容による会議等
- ・ 間仕切りして部屋を分けることで会意・協議・イベント開催時にも託児や子ども
の遊び場の設置を可能とする

⑤ 土間テラス・デッキテラス

- ・ 会議室、調理室、和室と外部を接続するスペース
- ・ カフェや炊き出し、笹巻きづくり、農産物の販売など自由度の高い利用を可
能とする

施設平面図



様式1 (KPI実績集計表)

事業名	KPI	KPI名称	当初値	単位		目標値					累計
						実績値 (見込額)					
						2020年度 (1年目)	2021年度 (2年目)	2022年度 (3年目)	2023年度 (4年目)	2024年度 (5年目)	
小さな拠点 (加茂交流 センター) 整備による 次世代が集 い、つなが り、育ちあ うコミュニ ティ創出事 業	①	交流センター を会場に、団 体、企業また は個人が、自 主組織や他の 団体、企業、 個人と連携し て行った取組 の数	10	回	取組数	12	14	18	22	25	91
					増加分	2	2	4	4	3	15
	②	交流センター を会場とした 取組におけ る、物品また はサービスの 売上額 (地域 自主組織・自 主組織支部・ イベント出店 者等、全て含 む)	100,000	円	売上額	124,000	136,000	200,000	264,000	304,000	1,028,000
					増加分	24,000	12,000	64,000	64,000	40,000	204,000
	③	加茂まちづく り協議会の役 員・部員にお ける30歳代 以下及び女性 の占める割合	30	%	割合	30	32	32	35	35	-
					増加分	0	2	0	3	0	5
	④	オープンス ペース (ワー キングスパー ス) の利用者 数	0	人	利用者数	120	240	1,360	1,860	2,360	5,940
					増加分	120	120	1,120	500	500	2,360

それっていいかも♪
考えよう!



かもライフ

KAMO LIFE

- ずっと住みたい加茂 -



2017年度～2021年度

加茂まちづくり計画

住



KAMO
LIFE
PLAN

1

暮らしやすいまち

次世代が 住みたくなる加茂



家族みんなが暮らしやすい加茂とは。



女性が活躍できる 環境をつくろう

地域自主組織等の役員や部員等に女性の積極的な参加を促し、リーダーの育成、活動する場の提供等、女性が活躍できる環境づくりをめざします。

地域ぐるみで 子どもを育てよう

子どもたちが気軽に利用できる居場所づくりを進め、学校や各種団体等と連携した子育て環境づくりや子育てを支える地元シニアのサポートネットワークづくりをめざします。

行事を見直して 負担を軽くしよう

住民の声を聴きながら、既存行事やイベント等の目的・内容を再確認し、協議会や支部それぞれの役割を明確にし、負担を軽くできるようにします。



KAMO
LIFE
PLAN

2

ほっと安心なまち

みんなにやさしい加茂



その人らしく、加茂で暮らし、人生をたのしむ。

健康・生涯現役で 社会参加しよう

生活習慣病や介護、認知症等の予防に向けた学習会の開催や高齢者の健康維持・食生活の改善に取り組み、スポーツやレクリエーション等を通じて、健康づくりと世代を超えた仲間づくりをします。

ふれあい・見守りによる 安心安全な地域にしよう

青色防犯パトロール活動や要配慮者等への声かけ等福祉活動を通して見守りをします。運営しやすい「いきいきサロン」にするための情報交換を実施し、世代間がふれあえる集いの場づくりをめざします。災害に強い防災の地域づくりをめざします。





コミュニティを見直し、 充実させる加茂



にぎわいをつくるのは、人が集う仕掛けから。



持続可能な自治会のあり方を検討しよう

次世代が地域になじみ定住できるよう、これまでの自治会の慣習やルールを見直し、持続可能な自治会のあり方を考えます。

地の利を活かして 住みやすい地域にしよう

恵まれた自然や農地の活用を図り、加茂の利便性のよさを市内外に広くPRし、住みよい地域づくりをめざします。JR加茂中駅の利活用を図り、にぎわいのある集いの場づくりをめざします。

福祉と連携した 買い物環境をつくろう

住民の声を聴きながら、加茂地区に合った宅配や移動販売等の買い物サービスのあり方や、高齢者等の見守りや声掛け等の福祉サービスとの連携を図ります。

暮らしやすさは 地域づくりから！

アンケートをとってみました。

Q どんな加茂に住みたい？ 回答率：70%以上

第1位 高齢者や子ども、障がい者を大切にする福祉の地域

第2位 大雨や台風、地震など災害に強い防災の地域

第3位 子育てが安心してできる子育て環境の整った地域

みんなに
やさしい加茂

ずっと住みたい
加茂

次世代が
住みたくなる
加茂

コミュニティを
見直し、
充実させる
加茂

KAMO MAP



雲南市加茂町

2,076世帯

男性:2,919人
女性:3,166人

(雲南市全体:13,848世帯/高齢化率37.35%)

高齢化率
35.56%

世代別人口

20歳以下:1,014人	40歳~59歳:1,447人	80歳以上:860人
20歳~39歳:1,024人	60歳~79歳:1,740人	

※平成29年9月末現在

”私たちのまちは私たちが創る”

加茂まちづくり協議会

島根県雲南市加茂町加茂中1040-1 加茂交流センター

tel.0854-49-8380 fax.0854-49-6042

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(令和元年度)

施設名	加茂交流センター		
指定管理者	加茂まちづくり協議会		
施設担当課	自治振興課(加茂)	(電話:0854-49-8601 内線:4103)	

1、【利用状況】()内は前年数値

単位:人・件

指 標	利用人数	(前年利用人数)	利用件数	(前年利用件数)	増減理由等
第1会議室	2,359	(2,039)	282	(216)	第1、第2会議室の利用件数増は、R1.5月から幸雲体操サロンを毎週木曜日に開催を始めたため。 わんぱく室の利用人数減は、放課後児童クラブの平日の利用児童数が、H30年度は30人以上だったが、R元年度は22~23人に減少したため。
第2会議室	2,372	(2,611)	343	(298)	
わんぱく室	5,434	(7,415)	386	(390)	
合計	10,165	(12,065)	1,011	(904)	

2、【管理運営状況】

項 目	内 容
維持管理業務	警備業務、施設設備保守点検、施設清掃等
企画運営業務	各種交流事業の開催(かもこ塾、サロン活動等)、会合等

3、【収支状況】

財源区分 (該当する番号に○)	1 指定管理料のみ			
	2 指定管理料+利用料金収入			
3 利用料金収入のみ				
収 入		支 出		
指定管理料		1,601	需用費	72
施設利用料		910	修繕費	31
自動販売機手数料		40	光熱水費	980
雑収入		1	役務費	250
			委託料	511
			使用料及び賃借料	227
			備品購入費	33
			公課費	110
合計①		2,552	合計②	2,214
収支①-②				338

4、【利用者満足度状況】(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等

5、【総合評価】

評価コメント	適切に管理されている。
特記事項	

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等（令和2年度）

施設名	雲南市加茂交流センター		
指定管理者	加茂まちづくり協議会		
施設担当課	自治振興課（加茂）	（電話：0854-49-8601 内線：4103）	

1. 【利用状況】（ ）内は前年数値

単位：人・件

指 標	利用人数	(前年利用人数)	利用件数	(前年利用件数)	増減理由等
第1会議室	1,122	(2,359)	187	(282)	新型コロナウイルスの影響により、計画していたイベントや催し物等が開催出来なかったため、利用件数、利用者数が減少した。
第2会議室	1,299	(2,372)	258	(343)	
わんぱく室	5,331	(5,434)	335	(386)	
合計	7,752	(10,165)	780	(1,011)	

2. 【管理運営状況】

項 目	内 容
維持管理業務	警備業務、施設設備保守点検、施設清掃等
企画運営業務	各種交流事業の開催（かもこ塾、サロン活動等）、会合等

3. 【収支状況】

財源区分 (該当する番号に○)	1 指定管理料のみ		2 指定管理料+利用料金収入		3 利用料金収入のみ	
	収	入	支	出		
指定管理料		1,615	需用費		83	
施設利用料		802	修繕費		22	
自動販売機手数料		25	光熱水費		822	
雑収入		1	役務費		212	
			委託料		496	
			使用料及び賃借料		196	
			備品購入費		376	
			公課費		181	
合計①		2,443	合計②		2,388	
収支①-②					55	

4. 【利用者満足度状況】（アンケート調査、苦情要望等）

意見等の内容	対応実績等

5. 【総合評価】

評価コメント	適切に管理されている。
特記事項	